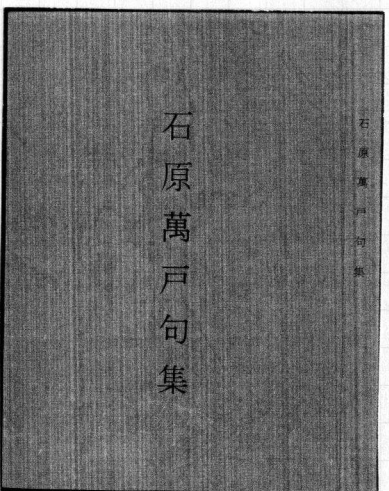


石原萬戸 （あしはら まんこ） 俳人。明治二十三年十月、二十七日大阪市生れ、昭和五十一年十一月、二十五日歿（八十九歳）。本名武雄。別號健生。夏自漱石晩年の最後の門弟として山房に止宿。師歿後小宮豊隆の下で第一次『漱石全集』の校正に従事。次で岩波茂雄の知遇を得、その後の特別な岩波版全集の校正に當つた。また雑司ヶ谷に住し、大正十五年から昭和八年まで漱石の墓地へ日参して墓守。

少時少年雑誌への投句で入賞したのを切掛けに句作の道に入る。特に師承を有し、村上鬼城を崇敬。大正十五年俳誌『かへご』を創刊主宰（昭和十九年一月終刊）した他、同人句集の等の編纂、俳論集がある。歿後『石原萬戸句集』（昭和五十三年六月五日大阪・久富泉九郎刊）。



石原萬戸句集